

八丈島文化協会 会報 第11号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

2016年1月25日発行



本年もよろしくお願ひいたします



平成28年度文化予算要望書を八丈町に提出しました

文化協会の活動を進めるためには、八丈町の補助金が貴重な支援となります。
28年度の文化活動活発化のため、協会会員の要望集約などを行い、理事会で島の文化振興を総合的に検討し、平成28年度の補助金要望書（補助金要望総額2,100,000円/補助金対象の事業予算総額5,091,500円）を昨年11月、八丈町に提出しました。
概要は下記のとおりです。今後、町の予算編成時に検討され、来年度はじめに補助金額が決定する予定です。

八丈島文化協会事業予算要望（補助金要望額/事業総予算額 単位：円）

1. 事務事業 100,000/380,000

予算概要：人件費、広報費、会議費、通信費、事務消耗品費、雑費、予備費

事業概要：会員の活動支援及び交流の促進、主催事業の運営、後援事業の支援、文化関連事業の情報提供、八丈町補助金の管理及び事務、八丈町等からの委託事業の実施、八丈町の文化振興に関わる提案及び協力、八丈島の文化振興に関わるコーディネート・コンサルタント業務等

2. 文化振興事業 2,000,000/4,711,500

主催事業 八丈島芸能文化祭事業 300,000/545,000

八丈島文化フェスティバル事業 300,000/650,000

八丈島JAZZフェスティバル事業 700,000/1,970,000

八丈島民大学講座事業 250,000/326,500

会員交流事業 0/20,000

後援事業 子ども文化体験事業（NPOあびの実主催） 450,000/1,200,000

文協つらつら△南風▽

No.VII

◆新しい年を迎えました。遅ればせながら本年もよろしくお願ひします。4年目の文化協会です。日頃のご協力ご支援に感謝しながら、今年も変わらぬご協力とご尽力、様々なご意見ご指導をお願いいたします。◆新年の文化協会は、恒例の第27回八丈島文化フェスティバルで幕明けでした。例年にも倍して賑やかな開催となり、30年の伝統をもつ手作りフェスとして出演者、参観者ともに満足していただける出来栄でした。◆最近では島もあちらこちらで日常的に文化の話題が語られるようになり、おじゃれホールでの催しも増えているようです。町教委担当者によると、公共ホールとしての稼働率は全国平均を上回るとのことです。◆文化活動の活発化傾向に比例して上昇するのが、多様な地域文化向上の要望です。ホールの利用だけでなく「利用の方法」についての要望は少なくありません。◆出される要望は、みんな地域文化振興策の充実が求められる事項ですから行政の力に負うところは「大」なのですが、すべて行政に要望すればいいとはいきません。文化協会と文化団体の自主努力面にも力を注がなくてはと思います。◆とはいえ、練習会場の確保など自主努力では解決できないことがあります。音量が大きく近隣からの苦情で中止に追い込まれることもあり、活動が制約されるという文化権侵害といえる様なこともあります。◆多様な要望に協会だけでは充分に答えられません、一緒に解決策と実践を行い、関係機関へ繋げるコーディネーター役も果たしていきたいと思ひます。

（会長 内山江差夫）

☆1月～3月のイベントの予定

（予定は協会員に限定せずホームページなどに掲載しますので、気軽に情報をお寄せください）



- 1月
24日 八丈島文化フェスティバル（舞台部門）
（作品展部門 1月18日～24日）
- 2月
6日 八丈実記を読む会・歴史セミナー「丹庄宗右衛門の流罪～薩摩藩と密貿易～」
13日 八丈実記を読む会・歴史セミナー「代官の負債と八丈島遠流」
20日 八丈実記を読む会・歴史セミナー「ある二つの家系をたどって見えたこと」
20日 NPOあびの実子ども招待公演「ぶちっとサーカス Poco a Poco」
22日・23日 八丈島民大学講座「過去の克服」に向けてドイツ文学から学ぶもの
27日 八丈実記を読む会・歴史セミナー「宇喜多秀家の遺品～歴民の企画展示から～」
- 3月
5日 八丈実記を読む会・歴史セミナー 野外講座「大坂越え(堀切)～大賀郷側から～」

第3回八丈島芸能文化祭が行われました

9月23日 八丈町多目的ホール「おじゃれ」で行われた、第3回八丈島芸能文化祭では八丈島の伝統芸能に加え、沖縄民謡・エイサー、馬頭琴・ホーミーの紹介等多岐にわたる芸能が披露されました。



八丈島に響いた『筑後川』ファン230人のハーモニー 「團伊玖磨の心をうたう『筑後川』IN八丈島 2015」



八丈島、そして全国から…230人の大合唱



地元八丈島の参加者が「八丈島の歌声」を披露

八丈島ゆかりの作曲家、團伊玖磨さんの作品を愛唱する人々が全国各地から来島し、合唱組曲『筑後川』を大合唱するコンサート「團伊玖磨の心をうたう『筑後川』IN八丈島 2015」が11月1日(日)午後1時30分から多目的ホール「おじゃれ」で開かれました。

第一部では大中音楽部10人、八高音楽選択者有志36人、三原歌おう会20人、八丈混声合唱団30人が「八丈島の歌声」を響かせました。第二部「團伊玖磨と合唱仲間たち」では、九州のメンバーが中心の團伊玖磨記念『筑後川』合唱団76人、文京混声合唱団17人、『岬の墓』を歌う会32人、大阪市民混声合唱団38人がそれぞれの合唱を披露しました。

第三部『筑後川』大合唱は、神奈川フィル名誉指揮者現田茂夫さんの指揮で、「みなかみ」から「河口」までの全5曲が歌われました。31日午後、全国から集まった参加者230人(八丈混声合唱団43人を含む)が初めて一堂に会し、現田さんの指導で行った2時間の合同練習の成果が発揮され、会場いっぱいの聴衆からは「すばらしかった!」「感動した!」の声が聞かれました。合唱参加者からも、八丈島のホールで歌えた喜びと町民の温かい歓迎への讃辞がロク々に聞かれました。町民にとっては、團さんの業績への理解を深めていただく機会となりました。

「大合唱」参加者の交歓会(前日)に200人、團さんのアトリエ見学会など、島内観光の参加者220人、コンサート成功を祝う交流会に160人が参加、八丈島の観光と文化交流を満喫しました。この催しを支えたボランティアスタッフは延べ約100人。ホールを活用した催しの運営に貴重な経験を積むことができました。山下町長はじめ教育委員会、運輸係、ご後援・ご協賛・ご協力をいただいた方々にあらためて感謝いたします。
(実行委員会事務局)

☆加盟団体活動記録(2015年9月下旬~12月)

※文化協会の加盟団体は日々それぞれに多様な活動を展開しています。
(協会が把握しているもののみを掲載しています。未掲載の情報がありましたらお知らせください)

★NPOあびの実

一日冒険あそび場 9月19日 垂戸海岸キャンプ場
子どものための太鼓ワークショップ 10月12日 大賀郷公民館
クリスマスコンサート 12月6日 おじゃれホール
アイランドクリスマス(マギー隆司のお笑いトークマジックショー) 12月20日 中之郷屋内運動場

★小原流八丈支部

いけばな講習会 9月27日 大賀郷公民館 みんなの花展(協会後援) 10月24日、25日 大賀郷公民館

★ピティナ八丈島Anettaiステーション

ピティナ・ピアノステップ(協会後援) 10月18日 おじゃれホール

★劇団かぶつ

公演「お桑かいこ録」10月18日 八高視聴覚ホール

★コウリマ ナニエ

かぶつ公演に特別出演 10月18日 八高視聴覚ホール

★八丈ウインドオーケストラ

24時間チャレンジ太鼓オープニング演奏 10月24日 底土船客待合所
クリスマスコンサート 12月20日 おじゃれホール

★榎立踊り保存会

文化財ウイーク場踊り披露 10月31日~11月8日
宇喜多秀家没後360年 鎮魂祭 11月20日 秀家の墓地、居住跡

★八丈島民謡保存会(八丈太鼓月曜会、よされ会、八丈太鼓愛好会、榎立太鼓会、加茂川会)

文化財ウイーク「太鼓・唄・踊り」10月31日 大賀郷公民館

★八丈混声合唱団

筑後川IN八丈島2015(協会後援) 11月1日 おじゃれホール

★M-isle Ballet

第3回クラシックバレエ発表会 11月22日 おじゃれホール

★八丈島自然っ子クラブ

秋のハイキング 11月 「海岸線を歩こう」 10月25日



今年度2回目となる「協会加盟団体交流会」が10月13日に富士見地区公会堂で行われました。



交流会では様々な意見・要望が出されます。



「おじゃれ」ホール利用に関する要望、協会の活動や富士見地区公会堂利用についてなど様々な意見が交換されました。